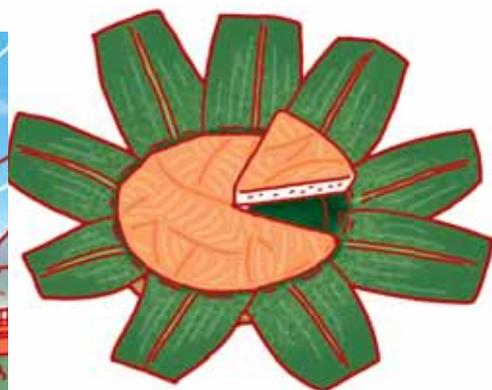
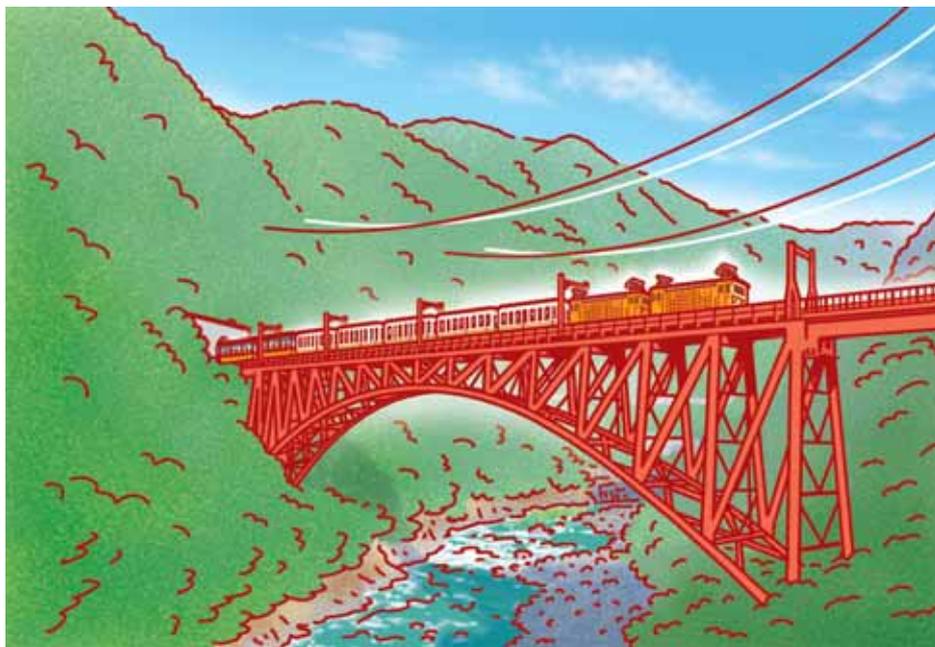


Fureai

Fujita Related All Information

2023 3.1
Vol.
293



【創業記念日 社長挨拶】

健康・安全第一に

【おめでとうございます】

二十歳のお祝い



【お知らせ】

育児休業取得事例第2弾

「JRE Local Hub 燕三条」スポンサー

「アルビレックス新潟」

オフィシャルクラブパートナー

月例賃金アップ …etc.



2023年3月27日

創業記念日 社長挨拶

代表取締役社長 今井 幹太



藤田金属は3月末で131周年を迎え、132年目に突入しました。毎年申し上げておりますが、こうして事業を継続できているのも、今まで藤田金属に携わってくれた歴代の社員の皆さんや、お客様・仕入先様を含めたすべての取引先様のお陰と、つくづく感じております。この場を借りて改めて感謝申し上げます。

第6期中期経営計画の初年度が終わろうとしています。皆さんにとってはどんな1年でしたでしょうか。掲げたスローガン、『Re:BUILD 「これまでの最適」から「これからの最適」へ』を意識して思考・行動できたでしょうか。中計の重点課題は各自の目標に落とし込まれていると思いますので、上長とともに振り返り、来年度へ繋げていってください。

さて、2022年度の会社全体の業績は、売上数量は大幅な未達、売上高は目標の492億円を達成見込み、経常利益は目標の12.4億円を達成できるかどうかの瀬戸際、という状況にあります(3月3日時点)。1年を振り返ると、今年度も一昨年から続く鉄鋼製品価格の上昇トレンドが総じて継続し、結果として昨年度決算同様に当社の売上高、経常利益ともに実力以上に膨らんだと分析

できます。第6期中計の全社目標(売上高490億円、経常利益12億円)を超える数字を出すことになりませんが、価格の上昇局面という追い風があることを認識し、冷静に受け止めてほしいと思います。ただし、環境要因の追い風にしっかり乗れるのも、社員の皆さんが自らの基本業務にきちんと取り組んでくれているからこそその賜物です。皆さん一人ひとりの頑張りに対して、非常に感謝しています。

一方で、4月から始まる2023年度は売上数量、差益ともに厳しい状況でのスタートとなりそうです。半導体や部品不足からの需要減や自動車の不調、母材の入れ替わりや電気料金などの諸コスト上昇による差益減少などが要因です。こういった難しい事業環境においては、中計や年度予算で掲げたことに精いっぱい取り組んでいただくことが前提となりますが、今一度皆さんには「コスト意識」を持ってもらいたいと思います。今まで業務で普通に行っている作業や工程が本当に必要なことなのか、対価をいだけない過剰な無料奉仕はしていないか、自分(自分たち)の業務を見つめ直してください。得てして、そうしたことは自分自身ではなかなか気づけないので、その際はぜひ周りの仲間た

ちと一緒に会話をしながら見つめ直すことをお勧めします。また、同じ事業部の違う支店の人たちや、他事業部の人など、異なる視点を持った人と交流すると新しい気づきが生まれやすくなるはずですので、積極的に交流の機会をつくってみてください。

5月以降、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類相当から5類へ移行されるということで、長く続いたウイルスとの戦いによりやく出口が見えてきました。皆さんには新型コロナウイルス禍において、さまざまなご協力をいただきましたが、5月以降も政府方針に従いながらルールを設定(緩和)していく予定です。また、中断していた私と各支店の社員の皆さんとの食事会も状況を見ながら再開していきたいと考えています。ぜひその際は、密にコミュニケーションを取らせてください。

最後になりますが、今年度も「健康と安全第一」を意識して過ごしましょう。これで私の創業記念日の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

以上

地方創生型ワークプレイス JRE Local Hub 燕三条の スポンサー企業になりました

JR東日本新潟支社と株式会社ドッツアンドラインズが、地域の技術や人々をエリアや世代を超えてつなぐ地方創生型ワークプレイス「JRE Local Hub 燕三条」を開業。2月17日に燕三条駅構内にオープンし、このたび三条支店がスポンサー企業として登録しました。

この取り組みは、ものづくりのマッチングや体験活動を通じて多くの人々に燕三条の企業をもっと知ってもらおうとともに、そのチャネルを通して技術はあるが後継者がいないなど、さまざまな事由から次世代に継承していくことが困難な企業に対して、海外も含めた域内外からの人財受け入れが可能な体制をつくっていくことを目的としています。

この活動は、燕三条を訪れた人々がこのワークプレイスを通じて燕三条というまちへの理解を深め、新たなものづくりの依頼につなげ、10年後20年後を見据えて燕三条の活性化を目指すもの。当社もその主旨に賛同し、協力していきます。



地域をつなぐ世代をつなぐ
JRE Local Hub
燕三条とは？

JRE Local Hub 燕三条とは？

01



地元製造業と企業のビジネスマッチング「ものづくりコンシェルジュ“MOC”」
燕三条の企業を全国各地・海外とつなぎ、新たなビジネス創発を目指します。

① 点在する工場（こうば）のリアルな体験ができます。

② WEB会議などを通して、都市部とつながります。

↓
2つを通して
産業の発展を図ります。

02



ものづくりを中心とした地域情報の発信
情報発信拠点として、「工場（こうば）の窓口」をコンセプトに、常設展示や工場見学ツアーの相談・受付を行います。

03



時間制シェアオフィス・コワーキングスペース
利用者同士のコミュニケーションを促進するビッグテーブルや、WEB会議に最適な個室ブースを整備します。

04



離れていてもひとつに繋がる次代会議室「空間自在ワークプレイス」
離れていても臨場感のある会議を可能にするほか、地域や全国の教育機関と連携し、ものづくりの楽しさを発信します。

05



課題発掘型人財育成プログラム「JRE STATION カレッジ」
地域が抱える課題にフォーカスした人財育成プログラムの提供を検討します。

お知らせ

等級基本給のベースアップ ならびに役職手当を 改定します

2023年4月より正社員、嘱託社員、準社員の月例賃金（等級基本給）を1人10,000円ベースアップします。また、役職手当を5,000円～10,000円増額します。

予告!



藤田金属がつくった 登山標識看板が 五頭連峰に設置されます

レーザーセンターがSDGsの取り組みから、端材の再利用として標識看板を設置することを阿賀野市に提案。このたび採用されました！
5月3日の山開きに合わせて五頭連峰に設置予定です。皆さん、ぜひ看板を見るためにも五頭連峰に登ってみてはいかがでしょうか？



育児休業取得事例のご紹介

第2弾



三条支店生産チームでの分割取得事例をご紹介します。

育休を取得した男性社員

Q. 育休を取得しての感想とこれから育休を希望する方へのアドバイスをお願いします

育児休業を取得する際にサポートしてくださった皆さま、また、稼働対応していただいた生産チームの皆さま、ありがとうございました。育休期間は、子どもの成長に喜びを感じられると同時に育児の大変さを改めて実感し、親として成長していかなければならないと思いました。

Q. 分割取得(※)を利用した経緯を教えてください

年子のため上の子が環境の変化への戸惑いがあると思い、一緒にいてあげたかったため、妻と子の退院の日から約1週間、1回目の休暇をいただきました。その後、妻と子の検診などが重なるタイミングで約3週間、2回目の休暇をいただきました。

(※)育休は子が1歳になるまでの間に、最大で4回に分けて分割取得が可能です。短期間や家庭の状況に合わせて出生後すぐや、配偶者の職場復帰のタイミングなど柔軟に取得できます。

直属上司

Q. 育児休業の申し出をどのように受け入れましたか？

日頃から、彼はどんなことにも協力的なので、チームの皆さんに協力してもらい取得させたいと思いました。

Q. 育休開始までに行った準備や取り組みを教えてください

本人が不在時の生産チーム体制を、関係者で共有してシミュレーションして準備しました。普段から欠員時の体制を整えているので、特別な取り組みなどは行わずに対応できました。

Q. 欠員期間中の対応を教えてください

ある程度は準備していましたが新型コロナウイルス禍ということもあり、人員がひっ迫する日もありました。それでも、生産チーム全員で臨機応変に対応しました。

Q. 部下の育児休業を経験して感じたことを教えてください

本人より「かけがえのない時間を過ごせた」と報告があり、育休を取得させて良かったと感じました。

Q. 他の営業店へ向けてのアドバイスなど教えてください

育休取得が当たり前の時代になるのでしょうか？ 多能工を進め、準備をしておいた方が良いと思います。どの営業店も余剰人員のない限られた構成だと思います。在籍メンバーが休んだ場合の想定や準備が重要になってきます。また、その人にしかできない仕事は早めに共有し、ほかのメンバーに習得させることが必要になってきます。生産チームの体制を整えられるように、育休取得を考えている社員の方には、早い段階で申し出や意思表示をしてほしいと考えます。

所属長

男性の育休取得は非常に素晴らしい制度だと思います。今までは休みたくても休みづらい雰囲気(風土)があったため、今回の取得が良いきっかけになればと思います。育児は親(特に男性)にとっては貴重な経験になると思います。今しかできないことは、やるなら今しかありません。今後も積極的に取得できる雰囲気と組織にしていこうと考えています。

「アルビレックス新潟」の オフィシャルクラブパートナーになりました

藤田金属では約20年間、アルビレックス新潟の「アドボードスポンサー」として、スタジアムに社名看板を掲出していました。今回、2023年シーズンでは「オフィシャルクラブパートナー」として応援することになりました。今シーズンはJ1での試合となりますし、ハーフタイムにてキャッチフレーズとともに社名がアナウンスされます。ぜひ、現地で聞いてみてはいかがでしょうか。

<オフィシャルクラブパートナーになり、変わる点>

- ★ゴール裏に設置する社名看板が2列目に移動します
- ★クラブロゴ、キャラクターマーク、応援マークなどを広報印刷物に使用できます
- ★ハーフタイムで社名が場内アナウンスされます



Twitter、 ブログを 始めました!

採用活動の一環としてTwitter、ブログを始めました。日頃の些細な出来事や会社のお知らせなど、いろいろな視点からツイートしています。ぜひ覗いてみてください。フォローもお待ちしております！
各支店・センターの皆さん、何か投稿ネタがあれば総務部までお知らせください。

Twitterは
コチラから

